

作曲専攻音楽学コース 3 ポリシー

ディプロマ・ポリシー

■ 人材育成目標

作曲専攻音楽学コースでは以下に挙げる人材の育成を目指しています。

- ・音楽・芸術に対する豊かな知的好奇心・感受性を持ち、社会に貢献できる人材
- ・音楽の学問的研究およびそれに関連した業務に携わる人材

■ 卒業までに身につけるべき資質・能力

- ・卒業後に、一般および音楽関連企業への就職、教職（中高）および研究職（大学）、国内外への進学など様々な活動を行うための基盤となる能力
- ・語学をはじめ、実技や理論など幅広い知識と経験

■ 学位の授与方針と評価方法

最終年次の「卒業論文」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士の学位を与えます。

- ・所定の在学期間の確認、必要単位修得の確認
- ・卒業論文の評価・・・専門実技の学修成果を総合的に審査する「卒業論文」は、音楽学コースの教員が合同で審査・採点し、合議により評価を決定します。

カリキュラム・ポリシー

■ 教育課程の編成方針

学部から博士前期・後期課程への一貫性を見据え、少人数であることを生かしたゼミ形式によるキメの細かい教育を行い、一般および音楽関連企業への就職、教職（中高）および研究職（大学）、国内外への進学などさまざまな進路につながる授業科目、教育体制を編成しています。

■ 具体的なカリキュラム構成と特徴

- ・1年次、2年次で音楽学の基礎的な方法論を学びます。
- ・3年次から各自のテーマに基づく研究に取り組み、4年次で卒業論文を完成させます。
- ・その過程において語学をはじめ、実技や理論を修得し、そして特別講座や総合ゼミを通じて幅広い知識と経験を身につけていきます。
- ・また国外の研究者・アーティストによるゼミや講演、提携校への派遣留学制度などにより、国際的な学修経験を積む機会が設けられています。

■ 教育課程の評価方針・方法

- ・講義やゼミ等の授業は、それぞれ各授業の担当教員の定めた方法によって評価します。
- ・その他の授業科目については、各科目の担当教員がシラバスに定めた方法によって評価します。

アドミッション・ポリシー

■ 求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心をもっている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性をもっている人

■ 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

・論理的思考力および表現力

■入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

・論理的思考力および表現力をみる論述・口述試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。

【学校推薦型選抜】

・音楽学の基礎的能力（英語力を試す出題を含む）、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して合否を判定します。